

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

猛暑の夏が一段落して秋の爽やかさが訪れる頃、山裾に純白で十字の花が群れ咲く…  
葉の形が牡丹に似ているからこの名前がある。

『ポタンヅル』

平成25年9月4日  
福岡市西区草場地区  
大塚俊樹



熊洞居人独言

# 89

クマが前回呟いた「愛嶽(おたけ)山(標高・439m)」の東側斜面に向かう道は、吉木交差点から北西方向に曲がり、大石・本道寺地区に入った道である。その道は更に、愛嶽山から宝満山(標高・829m)の西南側に達する道と繋がっている。この道路には今でも車で行くことが出来るが、現在は斜面の下部が雑木林となっている。数十年前までは草原であったので、良く上部を眺めることが出来ていたし、尾根まで簡単に行くことも出来ていた。この尾根からは、宝満山を下りるときに良く歩いていた道が有り、尾根の中央には素晴らしい道路がつくられている。それで、この道を歩いて行くことが出来るのである。

現在住んでいるkumaの家は、毎朝宝満山に祈るために建てた家である。4年前までは、殆ど毎週宝満山に登っていたが、この3年間は全く登っていないのである。

毎朝、家の東側にある神棚を拝んでおり、此所からも宝満山を望むことが出来るので毎日宝満山も拝んでいる。この場所から宝満山を含めた神様に一日の作業の無事をお願いしてる。kumaが行っている作業の中心は、自然を守る作業であり、福岡県及び太宰府市・筑紫野市から、自然保護に関する作業を依頼されており、会議の会長及び副会長に指名されているので、具体的な保護活動を行うことが出来る。そこでこれからは宝満山も含め、御笠地区やその周辺の山や中腹を歩き回ろうと考えている。これも、この会議等に参加

されている皆様や、これを読まれている皆様のおかげである。これからもよろしくお願ひしたいと思っています。

## ★都市公園で自然観察会28★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

☆日時 9月15日(日)

集合14時～解散16時

☆場所 春日公園・自然かんさつ館  
〔旧公園管理センター〕

※今年度の定例総会で、観察会を有料にし、参加費を集めることに決まりました。活動経費の補助などに充てます。  
会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Eメール kurabird-.tamura@nifty.com

**日本野鳥の会 福岡 主催** ※参加費：100円（中学生以下無料）

9/15（日）10/20（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時間：9:00～12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：092-920-3072（松永紀代子）	9/28（土）10/26（土） 久末ダム探鳥会（福岡町） 時間：9:00～12:00 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）	10/6（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時間：8:00～11:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005（神園道男）
10/12（土） 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時間：9:00～12:00 集合：ポート乗り場前 092-573-1827（森健児）	10/13（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時間：9:00～12:00 集合：JR 和白駅前公園 問合せ：092-606-0012（山本廣子）	10/1（火） 県営春日公園（春日市） 時間：10:00～12:00 集合：旧公園管理センター前 問合せ：090-7390-3561（小野仁）

**日本野鳥の会 筑後 主催** ※参加費：100円（中学生以下無料）

9/22（日）  
 濃施山公園（みやま町）  
 時間：9:00～  
 集合：公園内すいせん橋  
 問合せ：090-7446-9047（野田）



**福岡植物友の会 主催**

9/15（日）  
 三日月山観察会（福岡市東区）  
 有料 要予約  
 問合せ：092-662-2983（佃昇）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催** <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10/5（第1土曜日）  
 自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）  
 集合：九州歴史資料館駐車場  
 時間：9:30～12:30  
 問合せ：092-920-3072（松永）  
 8月の観察会はお休みです。

参加費：大人のみ 200円（保険料込）  
 ブログは 三国丘陵 **検索** で  
 すぐにヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会の観察会

**久留米の自然を守る会 主催**

第408回例会 9/14（土）  
 筑後川観月会 雨天中止  
 天体観察と星座のお話、お抹茶もいただきます。また今回は、久留米空襲に関する紙芝居もしていただく予定です。  
 時間：19:00～21:00  
 集合：筑後川防災センター  
 くるめウス  
 参加費：300円 定員 50名  
 下記 fax 要事前申し込み  
 問合せ：0942-46-8622（古賀）  
 0942-46-8623（fax）



サトキマダラヒカゲ 三国・松永

**和白干潟を守る会 主催**

9/28（土）  
 守る会定例会議  
 時間：10:30～13:00  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9/28（土）  
 クリーン作戦と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



山本廣子

# ◇◇報告◇◇第 475 回自然観察指導員講習会

実施期日：2013年8月24日～25日

前回2006年に実施した講習会を、この夏に実施した。

公益財団法人 日本自然保護協会 と 福岡県自然観察指導員連絡協議会の共催で、篠栗町にある県立篠栗社会総合センターを会場にした。受講生は全国から43名、県内在住者は25名で、県外から青森県1名・長崎県12名・大分県3名・鹿児島県1名・山口県1名の参加があった。

講師は、NACS-Jの小野木三郎(岐阜県在住)・田畑晴霧(熊本県在住)・福田博一(NACS-J)の3名、地元講師として藤川渡・山本弘子・佐竹陽子・門司慶子・安部泰雄・鶴田義明・小野仁・辛島真由美・重松尚紀・中岡康二。運営協力は瓜生顕一郎を中心に、書籍販売を小湊正憲・末弘祐一、会計を田村が担当した。

前日の8/23から宿泊し、講習会の事前準備を行った。

講習会当日は、大雨の2日間でした。その様子を報告します。

(撮影はNS氏、報告を田村が担当)



## ◆地元講師より◆

雨の2日間 勉強になった。楽しかった。受講者の方々は土砂降りの中でも、積極的にテーマを捜し、臆すことなくリーダーを務め、その意識の高さに感心しました。また講師の話術に引っ込まれている内に、自然の見方、観察の手法から、自然保護の考え方も学び。初心に戻って良い刺激を受けました。スタッフ募集に手を挙げて本当良かった、と感謝です。(山本弘子)

## 参加者からの感想

- ・山歩きの会で、自然を見る目をもっと広げたいと思い参加。とても「あるがままに見ることの大切さ」は、目からウロコです。
- ・講義、おもしろかった。もう少し交流できる時間があればよかったです。
- ・目線の違いが・・・。
- ・雨の中ということも有り、少々疲れました。
- ・雨を生かして講義をしてくださる先生方が印象に残りました。どんな日でも「自然」なので、その時の自然を観察できるんだと分かりました。
- ・もう少しゆっくり語り合う時間が欲しかった。もっと活発に意見交換をしたかった。
- ・自然保護に向けて、こんなに一生懸命努力されていることに、改めて感動しました。
- ・雨の中でもやれることが、こんなにあること、遊び方も色々あるということ、勉強になりました。
- ・ミニ観察会で実際に指導員となって説明するのは役にたった。
- ・一般の方や子ども相手に、これから頑張るって観察会をしてみたいと思いました。
- ・今後、交流会を増やして欲しい。
- ・企画をたてて自分でやってみることが、ドキドキしましたが、やってみてよかったです。
- ・知識よりも、参加者の興味を引くテーマ・話術・話し方などが、重要だと思いました。
- ・疑問に思うことが大事、楽しかった。
- ・自然を見る視点が変わってきた。
- ・最後のミニ観察会ではかなりのプレッシャーを感じましたが、2日間楽しく学ばせていただきました。ありがとうございました。

講習会の様子です。雨という自然も取り込んだ取り組みですよ。



はじめての一步ですよ。



・～・春日公園自然観察日記／第27回 2013年8月18日（日）・～・

晴れの暑い暑い日でした。参加者は、会員4名。今回は一般の方の参加はなかった。やっぱり暑さのせいかなあ。

今日は、公園の樹木などの木陰を中心に観察しつつ、歩いた。クマゼミやアブラゼミの鳴き声の中に、ツクツクホウシの鳴き声を聞いた。季節の変化を少し感じた。

ケヤキの樹皮でいろいろな地衣類を探した。種名は良くわからなかったけれど、なんとなく違いが少しだけわかった。雨の日に、もう少し生き生きした姿を見たいと思う。

公園の池では、アオサギ、ダイサギが探餌中、飛翔中のシオカラトンボ、水面にはヒシが一杯繁茂し、白い小さな花が咲いていた。撮影は永松、報告は田村が担当しました。



16時から、475回自然観察指導員の講習会の運営について、最終の打ち合わせを、自然かんさつ館で、瓜生さんを中心に、小野・永松・鶴田・安部・小湊・吉田・田村が行った。

## 2013年08月 私のデジカメ日誌より 本のむし

皆さん、これは何の種かわかりますか？

頂き物でしか、  
といわれる、完熟のマンゴーでした。

7月の1日と7日に食べて、すぐに、その種を鉢植えにしてみました。  
殻はヌルヌルしていたので、たわしで洗ったらよい感じになりました。

殻は、中の胚珠（豆種）を傷つけないように慎重に割りました。

胚珠には渋皮が付いていました。渋皮は取除いて植えたほうが豆が腐りにくいと  
ネットにあったので、豆を傷つけないように取るだけ取りました。

鉢に浅く植え、軽く土をかぶせました。最初だけ水をやり、室内に置いていたら、  
7日ほどで発芽して、ひと月ほどで左のよ



うになりました。

写真は、8月2日の状態です。  
この段階で外の直射のあたらない場所に置きました。

今年の猛酷暑のせいでしょうか、後から植えた細いほうは、残念ながら枯れたようです。最初の株は元気に育っていますので、観葉植物として、様子を見ていきたいと思っています。

最近は、「種はゴミではない！」ということで、こんなことをしてみる方も増えている  
ようですね。（本のむし）



